

魚津市中期財政計画（概要版）

【令和4年11月策定】

1 計画策定の目的

- 令和元年度に策定した「魚津市財政健全化計画（R2～R6）」に基づき行財政改革を進めてきた結果、目標を2年前倒しで達成
- 一方で、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、少子高齢化や人口減少により市税収入が落ち込み、社会保障費が増加見込
- 本庁舎をはじめとする公共施設の老朽化が進んでいることから、今後その建て替えなどに多額の費用が必要



計画的な行財政運営に向けて「魚津市中期財政計画」を策定

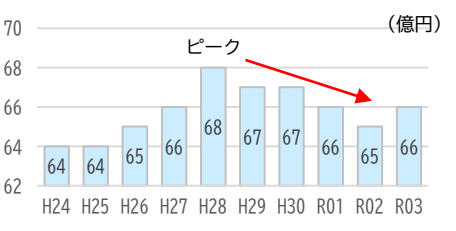
2 基本的な考え方

- ①計画期間
令和5年度～令和9年度（5年間）
- ②計画の見直し
今後の財政状況や新たな行政需要などを考慮し、毎年度見直し
- ③会計の単位
財政見通しの会計単位は「一般会計」

3 魚津市の財政状況

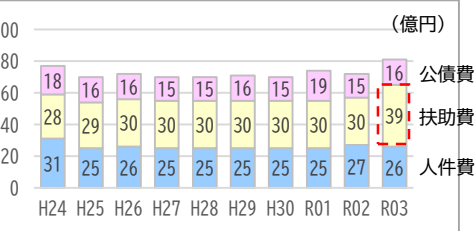
①市税の推移

H28をピークに減少傾向



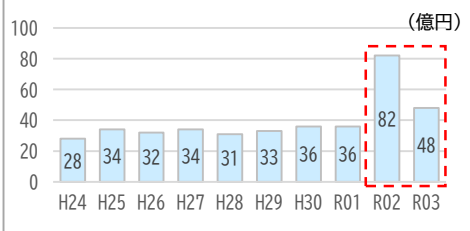
②義務的経費の推移

コロナ対策のため扶助費がR3増加



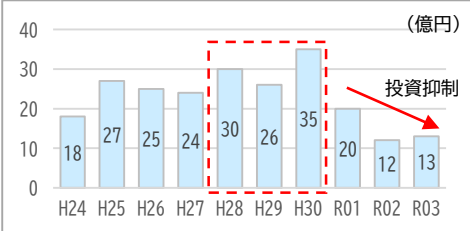
③国・県支出金の推移

コロナ対策のためR2・R3増加



④投資的経費の推移

統合小建設のためH28～H30増加

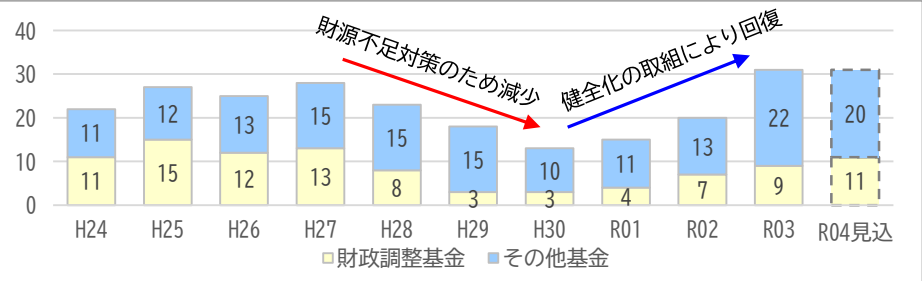


4 基金の状況（H24～R4見込）

- 平成28年度以降、財源不足を補填するため基金残高は急激に減少
- 令和2年度以降、行財政改革に取り組んだ結果、基金残高は回復

<年度末基金残高の推移>

(単位：億円)



5 財政収支見通し（R5～R9）

- 義務的経費は、公債費が中期的に減少していくものの、社会保障費の伸びに伴い増加傾向
- 投資的経費は、温水プールの整備（R5・R6）や新庁舎の建替え（R9～R11）などにより増加見込

<一般会計 歳入・歳出の財政見通し>

(単位：百万円)

歳入	R04当初	R05見込	R06見込	R07見込	R08見込	R09見込
市税	6,576	6,529	6,388	6,336	6,287	6,152
地方交付税	3,350	3,270	3,360	3,390	3,420	3,500
その他収入	8,599	8,781	9,024	8,702	9,178	10,026
歳入合計①	18,525	18,580	18,772	18,428	18,885	19,678
歳出	R04当初	R05見込	R06見込	R07見込	R08見込	R09見込
義務的経費	7,647	7,763	7,609	7,649	7,651	7,789
投資的経費	2,037	2,242	2,559	2,124	2,746	3,401
その他経費	8,841	8,701	8,676	8,747	8,525	8,582
歳出合計②	18,525	18,706	18,844	18,520	18,922	19,772
差額 (①-②)	0	△126	△72	△92	△37	△94

6 計画的な行財政運営に向けて（今後の取組）

- 毎年の財源不足は、事務事業の見直しなど継続的な行財政改革の取組や国の補正予算、ふるさと寄附といった財源を確保することで解消
- 財政調整基金は、安定的な行財政運営に向けて適正な残高を確保
- 公共施設整備基金は、令和5年度以降、毎年2億円以上を積み立て、本格化する新庁舎整備に備え令和8年度末までに残高20億円以上確保
- 減債基金は、令和9年度以降、剰余金を活用しながらできるだけ積立
- 公共施設の整備スケジュールを示し、毎年度見直しを行いながら計画的に整備